

ICTを活用したオンライン教材による学習支援（実証実験）を実施します

現在、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、4月13日から5月31日まで学校が一斉休校となり授業が行われていない状況にありますが、災害や感染症の発生による学校の臨時休校等の緊急時においても、子供たちの学びを保障することが求められています。

このことから、教職員が作成する学習プリントや教科書等を補助する手段としてICTを活用したオンライン教材による学習支援の有効性を検証する実証実験を実施します。

なお、実施にあたっては、「前橋市におけるICTを活用したまちづくり推進に関する連携協定」を締結している「㈱NTTドコモ」様との協力体制のもと実施します。

1 実証実験（支援）概要

〈支援対象者〉 前橋市立の中学校3年生（特別支援学校中学部3年生を含む）

〈支援内容〉

① 無学年式オンライン教材「すらら」のID配付（中学校3年生全員）

⇒ オンライン教材「すらら」のIDを配付して、オンライン上のデジタル教材にアクセスできるよう支援する。

（※無学年式オンライン教材「すらら」は、株式会社すららネットが提供する教材です。）

② 自宅でオンライン教材を活用したインターネット学習を行う環境が無い世帯の生徒に対するタブレット端末の貸与

注：新規にレンタルする580台の他、既に各学校に配布済のタブレットの内、750台を設定変更して対応

〈支援期間〉 概ね6月から8月の3か月間

2 市立中学校3年生を対象とした理由

- ① 新型コロナウイルス感染症による非常事態により、全国的にICT端末の調達に限りがあるものの、中学校3年生を対象とした場合、調達できるICT端末を活用した実証実験が実施できる見込みがたったこと。
- ② 中学校3年生は、進路選択を控えた義務教育の総仕上げとなる最終学年であるため。
- ③ 他の学年よりも情報リテラシーが高く、機材のより効果的な活用が期待できるため。

3 今後の展開

この度の実証実験結果を検証した上で、災害や感染症の発生による学校の臨時休校の緊急時にも、子供たちの学びを保障する具体的手段（環境づくり）を教職員や有識者の意見を参考にしながら検討していきます。

〈検証項目〉

- ・自主学習におけるICTを活用したオンライン教材の利用時間の実態及び利用効果
- ・教職員に対する補助教材（学習プリント等）作成に係る時間短縮効果

4 その他（㈱NTTドコモの協力内容）

- ・ICTを活用した学習支援策の提案、教材会社に対するオンライン教材の手配と調整
- ・既存のタブレットの設定変更に係る技術的アドバイス等を提供
- ・タブレット端末の確保（580台）